

千葉1区
稲毛区・美浜区・中央区



発行日：平成二十五年五月三十日

田沼新聞
48号

参院選公認候補予定者決定！

この決定まで二転三転あり、ご心配をおかけしましたが、ようやく完全決定です。

花崎 広毅氏

はなざきひろき

千葉県議3期・36歳

花崎氏のコメント

未来を切り拓く、新しい社会システムを築くために、「旧体制」を変革していかなければなりません。

人口増加・税収右肩上がり前提としてつくられたあらゆる仕組み、持続不可能なシステムを根本から改め、複雑多様な価値・新しい価値の発揮を阻害する既得権益を打破することが、私のミッション【存在意義】です。

未来を担う責任を果たすべく、私は、闘います。

田沼たかし推薦文

花崎広毅さんは、維新政治塾で共に学んだ、維新の理念を共有する同志です。36歳でありつつ、県議8年の経験も積んだ、若さと実力両方を兼ね備えた人材。県議時代も不正経理問題に誰よりも鋭く追求していた、非常に正義感の強い男です。

しがらみのない立場で、私達と共に改革実現に向けて精一杯活動してくれること、間違いありません！どうぞ、よろしくお願い致します！



～花崎広毅(はなざきひろき)プロフィール～

- 1976年 12月24日生まれ 36歳
- 1988年 少年野球全日本代表(投手)として南米遠征 ホームステイ体験
- 1992年 柏市立田中中学校卒業
- 1995年 千葉県立柏高等学校卒業(中・高ともに野球部)
- 1998年 明治大学政治経済学部政治学科 中退
- 2000年 (株)インテリジェンス 事業子会社の創業メンバーとして起業に参画
人材採用支援・転職コンサルティングの事業企画担当
- 2002年 (株)リクルート 進学情報ディビジョン
高校生進路指導・キャリア教育支援サービスに従事
- 2003年 衆議院議員公設秘書
- 2005年 千葉県議初当選(その後3期務める)
- 2012年 大阪維新の会「維新政治塾」参加

花崎さんの
連絡先
はこちら♪

事務所 千葉市中央区中央4-14-1
千葉不動産ビル1-B
HP <http://www.hanazaki.net>

TEL 04-7181-2811
FAX 04-7181-2812
Mail info@hanazaki.net

教育委員会廃止法案提出！

私の今国会活動の集大成であり、私が衆議院議員に挑戦を決断した最大のテーマである、日本維新の会としての**教育委員会廃止法案**を、5月6日、衆議院事務総長に提出しました。感無量です。

責任と権限を明確化すべく教育委員会は廃止し、教育長は首長直属に。議会のチェック力を高め、現場に権限を移譲し、曖昧な指導行政は停止。

この法案は**戦後の教育行政を根本的に変革する、画期的内容**だと思います。

私がこれまで、市議会議員の頃から**一貫して**、教育委員会の廃止を訴えてきたことは、皆様もご存知頂いているかと思います。

この法案について誤解されやすいのは、「教育の政治的中立性の確保」という美名に惑わされ、民意の反映すら中立性を阻害する、とされることです。「政治的中立性の確保」とは、教育の内容に党派的な偏りがあるてはいけない、という意味であって、**首長(政治家)が教育行政に関与しないという意味ではありません。**

このことを勘違いしたままここまで来てしまった。その結果、実質上司のいない教育委員会は、前例踏襲・事なかれ主義・隠ぺい体質に。もう改めなければなりません。

現在、政府・自民党も教育委員会制度の改正法案を準備しています。しかし、踏み込みが全く不十分。私は到底認められません。

ぜひとも他党には、維新の法案の意義をご理解頂き、賛同頂きたいです。



決算行政監視委員会にて初質問！

文部科学委員会と同様に私が所属する、決算行政監視委員会で初めての質問を6月3日に行いました。市議時代から、**行政は決算に対する姿勢が甘い**と感じていました。決算審議は、税金がきちんと使われたのかどうかを精査する、予算審議と並んで重要な審議事項であるはずですが。

そんな中、国の決算文書に162カ所のミスがあったことが発覚。原因は、地方の出先機関でのシステムの入力ミスとのこと。このことについて質問しました。



田沼の質問

決算文書のミスについてどう思うか？

政府側の答弁

麻生大臣：大変遺憾。再発防止に全力を尽くす。
(田沼：具体的な解決策の提示をお願いします！)

再発防止策として、マニュアルを配布して研修を徹底することや、わかりやすいシステムへの改修等が目先の手段として考えられます。しかし、それでは根本的な解決には至りません。そもそも、**地方出先機関があまりに多すぎて、入力方法の徹底が十分できなかったことが本当の原因**であると考えられます。地方のことは地方で決められるように地方分権改革を進めることによって、こういったミスも起こりにくくなります。**巨大すぎる中央官庁支配はもう限界**です！地方分権を進めるべく、今後も追及していきます！

【討議資料】

お気軽にご連絡ください！

千葉事務所 稲毛区小仲台4-14-8
TEL 043-253-9610 (必ずお返事します)
FAX 043-253-7255
国会事務所 衆議院第2議員会館416号室

Mail office@tanuma.info
HP http://tanuma.info
Blog http://ameblo.jp/tanuma
Twitter @tanumatakashi

